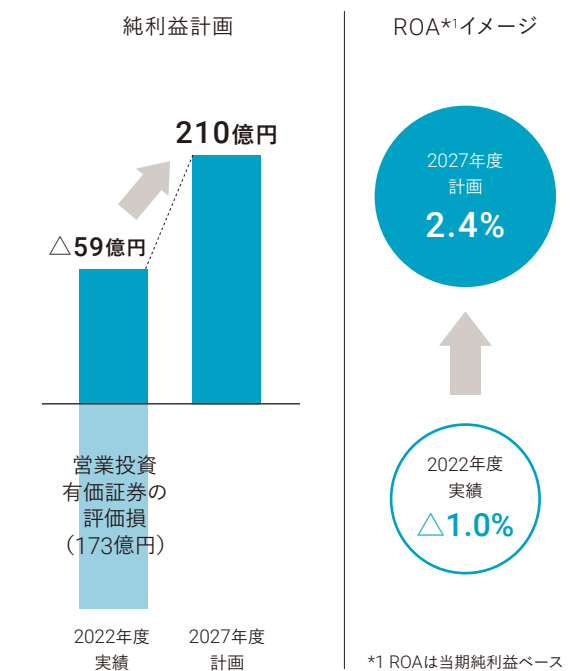


各事業分野の成長戦略

INTERNATIONAL
BUSINESS

国際事業分野

中期経営計画2027における利益計画



成長戦略

CSI

- ➡ IT機器のFMVリース*1やITADサービス*2を中心に事業を順調に拡大し、2016年に連結子会社化して以来、経常利益は毎期最高益を更新。
- ➡ 北欧やアジアで新規拠点を設立、欧米におけるITAD拠点も拡充し、今後も積極的に事業エリアを拡大予定。多国籍企業におけるサービス標準化のニーズに対応するとともに、既存の海外現地法人との連携によりグループの協業シナジーを加速し、収益基盤の強化を図る。
- ➡ グローバルなデジタル化の進展、IoTデバイス数の増加に伴うITサービスの需要は旺盛であり、さらなる成長拡大を見込む。

パートナーシップ
戦略

- ➡ 日立建機および伊藤忠商事との合併によりZAXIS Financial Services Americasを設立。アジア地域で先行する日立建機とのファイナンス事業に関するノウハウなども活用し、米国でのさらなる事業拡大を目指す。
- ➡ NTTグループとは、マネージドサービスの協働をグローバルに展開。データセンター事業においてはインドに加え、北米エリアなどへの拡大を図る。
- ➡ 地場優良企業や日系企業パートナーとの強固なアライアンスにより、ビジネスを拡大。

オート・ニッチ分野・
その他成長領域

- ➡ トラック、樹木整備機器、小型建設機械ディーラーのFMIは、ファイナンス会社のAPIとともにワンストップサービスを提供。今後、M&Aなどによりさらなるディーラーネットワークの拡大など、ニッチ分野の開拓を図る。
- ➡ オート事業では、割賦領域を含めたDX化によりサービス向上を図るとともに、オートリースも強化。M&Aを推進することで成長も加速。
- ➡ 環境関連事業では、二国間クレジット制度(JCM)における当社を代表事業者としたプロジェクトの継続的な取り組みに加え、EVなど環境対応車へのシフトにも積極的に対応。

*1 IT機器に関する残価付きリース(Fair Market Value)

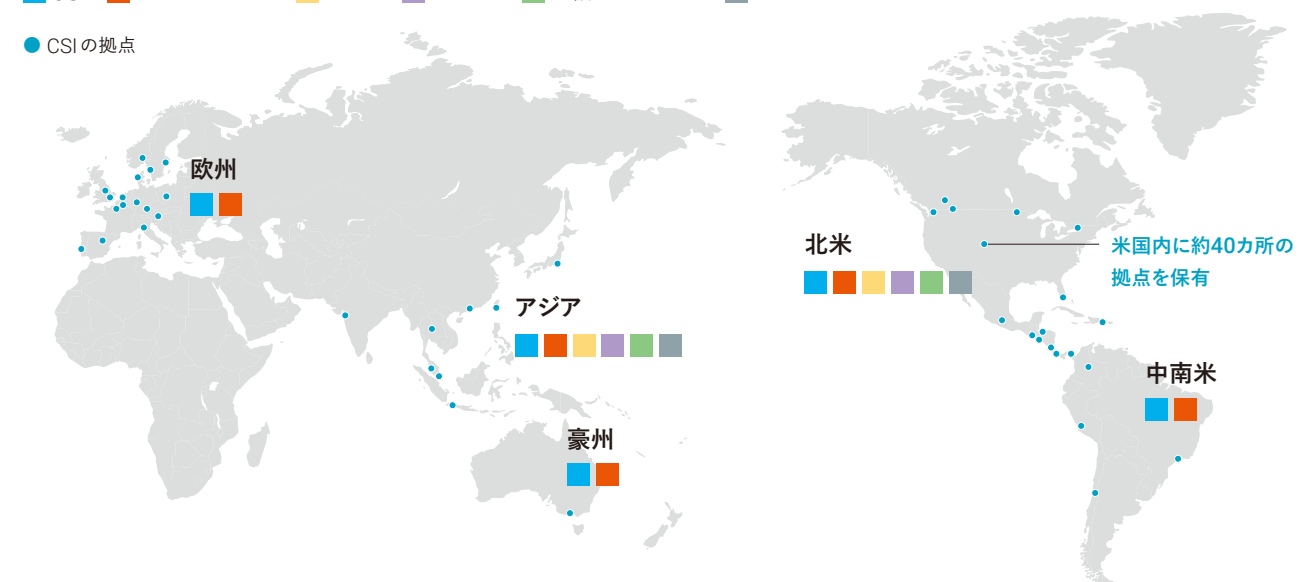
*2 IT Asset Disposition Services(安全かつ適切な方法によりIT資産を処分するサービス)

事業展開イメージ

事業MAP

CSI ITAD*サービス オート トラック 建機ファイナンス リース

● CSIの拠点



MESSAGE



前

中期経営計画期間では、コロナ禍の影響が全世界に広がる中、国際事業分野の経常利益は2020年度107億円、2021年度190億円と拡大。直近の2022年度は営業投資有価証券の評価損187億円を計上したため経常損失を9億円計上し、大幅減益となったものの、本業では着実に成長を遂げてきました。

この成長の大きな柱となっているのは米国子会社のCSIで、コロナ禍において、北欧・アジアで新規拠点を設立、欧米におけるITAD拠点も拡大しており、着実に将来の布石を打っていき

ました。リース・ITADサービスの提供国は50カ国以上にのぼり、今後も拠点網・ITADサービスなど付加価値を強みに、マルチナショナル企業のニーズを取り込むことでさらなるプレゼンスの向上・飛躍を果たしていくものと考えています。その他米国では、日立建機ブランドのZAXIS Financial Services Americasを立ち上げるとともに、特殊車両などニッチ分野のファイナンス・ディーラー事業も拡大しています。アジアでは、パートナー企業との協業による事業拡大やオート事業を中心としたビジネス基盤の強化を進め、JCMなど環境事業にも積極的に取り組んでいます。NTTグループとはマネージドサービスの協働をグローバルに展開し、共同で運営するデータセンター事業はインドでの実績を踏まえ、今後は北米などへの拡大を図っていきます。

本年度よりスタートした中期経営計画2027では、引き続きアライアンス戦略のもと、IT・モビリティ・環境分野における強みを活かして、成長事業やニッチ分野に注力することで差別化を推進するとともに、経営の現地化や従業員のエンゲージメント向上などにも取り組んでいく方針です。GX・DXの活用も積極的に行い、顧客サービスを向上することで、さらなる飛躍を目指していきます。